

## 指定管理者評価委員会の評価結果（令和5年度）

令和5年8月7日

評価対象	施設名		みのかも健康の森	
	設置目的・役割等		・保健、保全機能の発揮される森林の整備 ・市民の自然保護意識の高揚及び教育文化の向上	
	施設の所在地		美濃加茂市山之上町7559番地	
	規模等	敷地面積	1,069,268 m <sup>2</sup>	担当課
		延床面積等	1,067.81 m <sup>2</sup> (鉄骨造1階建て)	農林課
	指定管理者名		可茂森林組合	
	指定期間		R3.4.1～R8.3.31 (公募・ <u>非公募(任意指定)</u> )	

評価委員 (敬称略)	名城大学 都市情報学部教授 赤木 博文 岐阜協立大学 経済学部准教授 藤井 えりの 旅人総研代表 田中 三文 … (欠席) コンサルティングシスト代表 伊藤 慎悟
---------------	--------------------------------------------------------------------------------------------

指定管理者の報告要旨	
<p><b>【前回の評価委員会における指摘事項への対応(改善事項)】</b></p> <p>・令和2年度実施の評価委員会において指摘を受けた事項について、下記のとおり取り組んでいる。</p> <p>指摘事項①:「今年から来年にかけてコロナの影響でさらに厳しくなると思うが、平成29年度から事業収支が赤字であるため、数値に見えるような成果を出せるように今後の経営努力に期待したい。」</p> <p>対応状況:コロナ禍の影響もあり赤字決算となっている。また、昨今は資材費や原材料費、燃料費や光熱費、人件費(最低賃金)などすべてのものが高騰しており、事業を推進するうえで苦労しているのが実情である。入園者数の増加につながるイベントや自主事業を増やすこと、豊田合成との連携事業の推進、バーベキュー利用客増加につなげる積極的なPR、食堂については新メニューの開発やメニューの値上げ、必要経費のできる限りの削減など、数値に見えるような成果を出せるよう努力していく。</p> <p>指摘事項②:「コロナ禍においては、民間企業の経営意識を持つことが重要である。民間企業で取組んでいるコロナ対策を参考にしながら、市との連携を含め、職員全員で知恵を出し合いながら運営してほしい。」</p> <p>対応状況:民間企業の経営方針や考え方を参考に、職員全員がアイデアを出し合い、さらに市との連携を強化しながら事業を推進、運営していく。今後は民間企業でイベント等を企画した実績のある職員を採用することも検討していく。</p> <p><b>【運営状況(コロナ禍からの改善状況等)】</b></p> <p>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大が見られた令和2年度以降利用者が減少傾向にあったものの、昨年度は入園者数が67,480人となり、コロナ禍前の令和元年度(70,450人)と比較すると9割強にまで回復している。</p> <p>・昨年度の収入は10,875千円であり、令和2年度及び3年度を上回る数字であったものの、収支はここ数年赤字が続いている。原材料費や燃料費の高騰による食堂メニューの値上げやテイクアウトメニューの追加、自主事業の開催等で収入の確保に努めているが、収支状況の改善までは至っていない。</p> <p>・バーベキュー広場の利用者数は令和4年度で5,080人(バーベキューセット:866セット)となり、コロナ禍以降最も少なかった令和3年度(1,970人、379セット)から回復傾向にある。今年度はバーベキューセット1,000</p>	

セットを目標に設定し、運営を行っている。またこのバーベキュー広場で使用する炭は、指定管理者が伐採した木材を自ら加工して製造したものを使用することで、1セット(～8人まで)あたり3,150円という低価格での運営が可能となっている。

・主な自主事業として、年2回のマルシェや豊田合成との連携事業等を実施。マルシェについては毎回好評であり、今年度はさらにマルシェの開催回数を増やす予定。豊田合成との連携事業については、企業の森事業と関連した事業としてキャンプ講習会や薪割り・炭作り体験等を実施。都市部からの参加者が多く大変好評を得ていることから、他の企業との連携も積極的に行っていきたい。

#### 【今後に向けて(課題)】

・目標入園者数 73,000 人、目標収入 13,000 千円に向け、自主事業等各種取り組みを実施する。

・バーベキューの運営について、炭の自前調達等の企業努力により現在の価格で提供出来ているものの、昨今の物価高騰、また人件費等必要経費の軒並みの高騰により大変苦しい状況となっている。

・開園から間もなく30年を迎えるにあたり、施設全体の老朽化が顕著である。小中学校や保育園といった公園利用団体から遊具の少なさを指摘されている他、パターゴルフ場の利用者数の伸び悩みにも影響があると考えている。その他の施設・遊具等についても老朽化による改修が必要な箇所が多数あり、修繕等に対応出来る部分は自前で対応するものの、財政的負担が大きいものについては市へ要望を行っていく。

・ワイヤー遊具について、昨年度に支障木の伐採及び設備点検を実施したものの、現状定期運営が困難な状況となっている。定期開催に向け、市と連携しながら運営事業者の確保に努める。

### 総合評価結果

#### 二次評価

B

・管理運営上大きな問題は見られず、市と指定管理者ともに現在の形で運営することにメリットがあることも踏まえると、ここ数年の赤字という部分は気になるものの評価に値する。

・収入の確保のために様々な自主事業を実施する等取り組みを行った様子がよく伝わってきた。その結果が収入の増加に繋がっている点も評価できる。

・これだけの規模の敷地や駐車場を備えていることから、大規模なイベント開催等のソフト面の充実をより図って欲しい。またクラウドファンディングの実施による改修費の調達等、新たな手法による施設の維持管理・運営方法についても積極的な検討を期待する。

### 要改善・勧告事項

#### 【指定管理者に対する要望・指摘】

##### ①入園者数増加に向けた取り組みについて

・健康の森を学校行事の一部に組み込んで利用してもらえれば、行事の度に健康の森を訪れることになり、また「学校で行ったから」という理由からプライベートでの利用にも繋がるのではないかと。この相乗効果で入園者数の増加が期待できることから、小中学校や保育園との連携を検討することが望ましい。

##### ②収支状況の改善に向けた取り組みについて

・平成29年度以降事業収支の赤字が続いている。昨今の物価高騰や人件費等必要経費の高騰による支出の増加が見込まれる中での運営は大変厳しいことが予測されるが、今後の経営努力に期待したい。

### その他指摘事項

#### 【市に対する要望・指摘】

##### ①今後の施設のあり方について

・開園から間もなく30年を迎えるにあたり、施設そのものの老朽化が大変顕著に見られることから、市としてこの施設をどうしていくか、存続について検討すべき。検討の結果、市の方針としてこの施設を存続するのであれば

相応の投資が必要となってくるため、クラウドファンディングやふるさと納税の活用等も含めてどのように投資を行っていくかも併せて検討することが望ましい。

#### ②施設のプロモーションについて

・来園者の増加やサービス向上に向けた施設全体のプロモーションを指定管理者に求めるのは、専門的な知識が無いこともあって難しい。例えば外部の専門家に依頼し、年間通しての計画を立てる等、指定管理者への支援策を検討すること。

#### ●二次評価の判定基準

総合評価	基準
A(優 良)	施設の維持管理・運営を適正かつ効果的・効率的に行い、「サービスの向上」、「利用者数・稼働率の向上」及び「管理経費の縮減・費用対効果の向上」を図る具体的な取り組みを積極的に実施している
B(良 好)	施設の維持管理・運営を適正に行い、「サービスの向上」、「利用者数・稼働率の向上」及び「管理経費の縮減・費用対効果の向上」を図る具体的な取り組みを一部実施している
C(課題有)	施設の維持管理・運営を適正に行っているものの、一部課題があり、「サービスの向上」、「利用者数・稼働率の向上」及び「管理経費の縮減・費用対効果の向上」を図る取り組みもあまり見られない
D(要改善)	施設の維持管理・運営に問題があり、早急な改善・勧告が必要である